地域回覧用

# 関小学校運営協議会だより No.6

令和２年１１月１日

学校運営協議会だよりは関小学校 HP でもご覧いただけます。
http://www.kameyama-mie.jp/kblog/seki/

## □チーム関小学校　子どもたちのために　様々な職種の教職員が学校では働いています

関小学校では、授業を教える教員の他に、いろいろな業種の職員が子どもたちの健やかな成長を目標に、日々働いています。それぞれの業務内容は決まっていますが、子どもを育てるという教育現場の特性上、業種を超えて協力して子どもたちのために日々がんばっています。校長、教頭、授業を教える教員の他 14 の業種の職員が関小学校にはいます。

みなさんよくご存じの養護教諭、“いわゆる保健室の先生”は児童の怪我・疾病等の応急処置はもちろんのこと、健康診断・健康観察等を通して、児童の心身の健康をつかさどります。関小学校には給食センターが併設されているので、栄養教諭もいます。栄養教諭は学校給食を作ることに加えて、児童の食生活・栄養やアレルギーなどに対する個別的な指導、学級活動などの機会にクラス単位での食事・栄養指導、食育の授業などを行います。

子どもたちの学習に関わる職員では、学習生活相談員、介助員、看護師、学校図書館司書は子どもたちにとって身近な存在です。今年度配置された学習指導員、英語指導の助手を行う ALT、児童、保護者、教職員のカウンセリングなど相談面接を行うスクールカウンセラーもいます。

この他にも学校施設、備品・教材の管理を行う学校事務職員や電話の応・事務補助・給食の配膳補助・学校環境整備などを行う応接員もいます。
本校は通学エリアが広いのでスクールバスを２台持っています。運転手はスクールバスの運転はもとより、給食コンテナのあげおろしや持ち前の技術を活かして、草刈りや修繕業務もお手のものです。

職員室で業務を行う職員もいます。コミュニティースクール＝学校運営協議会の事務の仕事を行う学校運営協議会事務員、教員に代わって資料作成や授業準備等を行うことで、教員をサポートするスクールサポートスタッフもいます。総勢 44 人のチーム関小学校です。

## □各学年・担当のコーナーがスタートします

保護者の皆様や地域の皆様に関小学校の様子をもっとよく知っていただくために、今月から教職員が分担して、各学年からのコーナーをスタートさせます。内容は各担当の先生にお任せ企画です。トップバッターは「まなびの教室」と１年生です。

# 「まなびの教室」

関小学校には、「まなび」と呼ばれる教室があります。平成 26 年にできた教室で、今年で 7 年目となります。正式名は、「通級指導教室」といわれ亀山市では関小学校・亀山西小学校・川崎小学校・井田川小学校（ことばの教室）・亀山中学校（きずきの教室）の 5 校に設置されている教室です。

「まなびの教室」は、「その子が集団生活の中でその子の力が発揮できない状況にある。」「その子が集団生活の中で困っている状態にある。」ことが利用できる条件となります。関小学校では渥美先生が「まなびの教室」の担当です。

例えば・・・
- ○集団行動が苦手である。
- ○順番を待てない。
- ○同じ注意をされても、失敗が改まらない。
- ○思ったことをすぐに口にしてしまう。
- ○会話していて、言葉の行き違いが多い。
- ○友だちとのトラブルが頻繁にある。
- ○勝敗にこだわりすぎて、思うようにならないとパニックになることがある。
- ○学習の中で、得意なことと苦手なことの差が激しく自信をなくしてしまいそうである。
- ○不器用さが際立って目立つ。

「まなびの教室」に通級している児童は、基本はそれぞれが在籍する学級で授業を受けます。決められた曜日・時間帯に「まなびの教室」へやってきて、個別や少人数で指導を受けるシステムとなります。「まなびの教室」では、児童の心の安定を図りながら、一人ひとりの特性に応じた指導を進めています。なにより、集団生活に参加しようとする意欲を育てることを大切にしたいと考えています。

お子さんの発達で不安や心配なことがありましたら、お気軽にご相談ください。

申し込みについては、学級担任までご連絡ください。

## □元気いっぱい 1 年生です　運動遊びで体力向上だ！

**元気いっぱい、笑顔いっぱいの 1 年生の子どもたち。体育の学習では、運動遊びを楽しく意欲的に行っています。低学年では、運動遊びの楽しさに触れながら体力の向上を図るとともに、運動能力が著しく発達するこの時期に、基本的な体の動きを幅広く培えるようにするために学習します。また、きまりを守って誰とでも仲良く運動遊びをしたり、安全に気をつけたりすることができるようになることを目標に体育の学習をしています。**

「ぶたのまるやき」です。頭を下に下げる感覚が味わえます。逆さまになってもこわくないね。

「くねくねマット」から落ちないように転がります。

友だちと協力しながら安全に準備やお片付けをしています。

腕の支持で「川跳び」です。足がマットにつかないように腕の支持だけでマットをジグザグ進みます。マットには足を食べるワニがいると思って取り組んでいます（笑）。